

九州リファイン株式会社

Thursday, January 18, 2024

人類が持続的に発展できる社会を実現するために、
『資源』『環境』『こころ』のリファインを業とし社会に貢献する



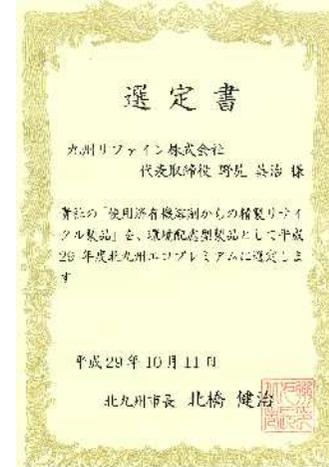
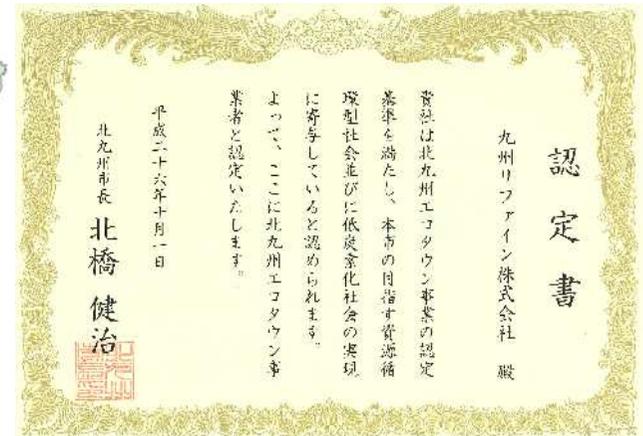


九州リファイン(株) 所在地



北九州エコタウンにあります。

九州リファイン株式会社 | 北九州市エコタウンセンター (kitaq-ecotown.com)



使用済有機溶剤からの精製リサイクル製品 | エコプロダクツ | 北九州エコプレミアム (kitaq-ecotown.com)



九州リファイン(株) 概要



KYUSHU REFINE CO.,LTD.

平成14年(2002年) 高野興産(株)響事業所としてスタート
平成26年(2014年) 生産活動終了

平成26年(2014年) 事業承継により、九州リファイン(株)となる

	情報
所在地	福岡県北九州市若松区響町一丁目62番地19
社員数	9名 <出向者3名・地元採用6名>
資本金	30百万円
敷地面積	7,321,99m ²
会社設立	2014年6月23日 (7月1日 操業開始)
生産設備	2系列
危険物屋外タンク	20kl x 4基、10kl x 6基、(30kl x 4基 <増設中>)
危険物貯蔵所	屋内貯蔵所 x 2、屋外貯蔵所 x 2
一般取扱所	2箇所 (うち1箇所 <増設中>)

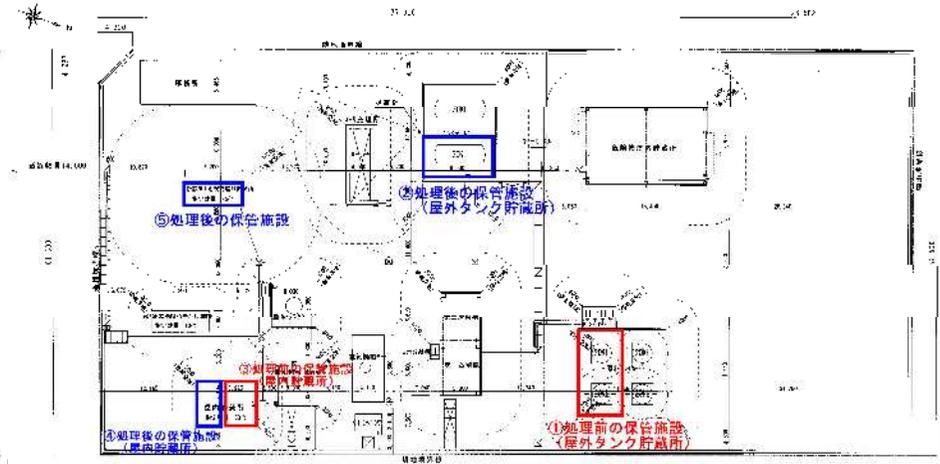
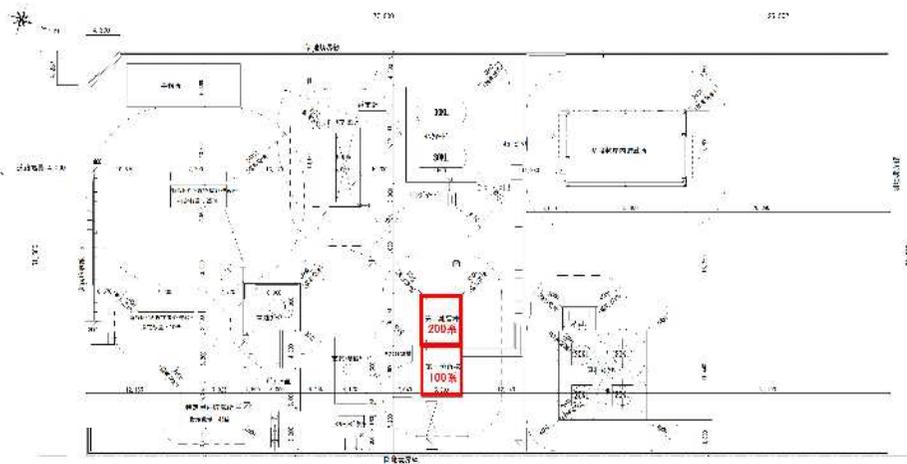
	業の目的
(1)	有機溶剤、その他化学薬品の蒸留精製
(2)	有機溶剤、その他化学薬品の売買
(3)	産業廃棄物の収集運搬及び再生処理、処分業 <特別管理産業廃棄物中間処理業>
(4)	前各号に関連する一切の事業



九州リファイン(株) 概要 <産業廃棄物処理>

REFINE KYUSHU REFINE CO.,LTD.

項目	内容
許可証	特別管理産業廃棄物処理業
許可番号	第07670181752号
事業区分	中間処理業（蒸留）
特別管理産業廃棄物の種類	廃油（揮発油類、灯油類及び軽油類、又はジクロロメタン、四塩化炭素、1,2-ジクロロエタン、1,1,1-トリクロロエタン、1,1,2-トリクロロエタン、ベンゼン若しくは1,4-ジメチルベンゼンを含むことのみにより有害なものに限る。） 以上1種類
施設の種類の種類	蒸留設備（100系、200系）
設置年月日	平成27年3月9日
処理能力	1日あたり2.4立方メートル（8時間）

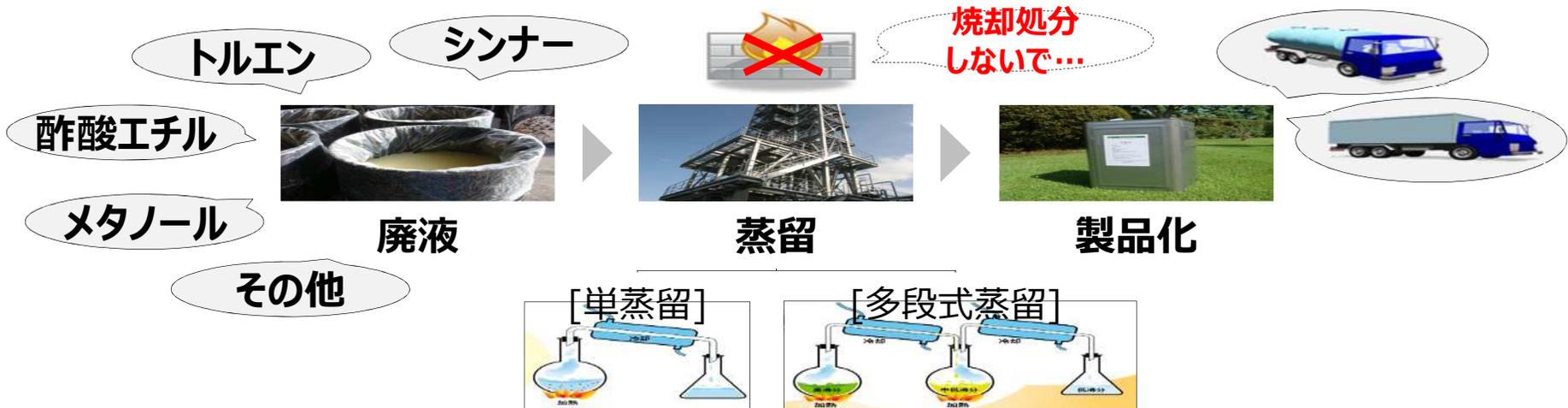




有機溶剤の用途と蒸留リサイクル事業について

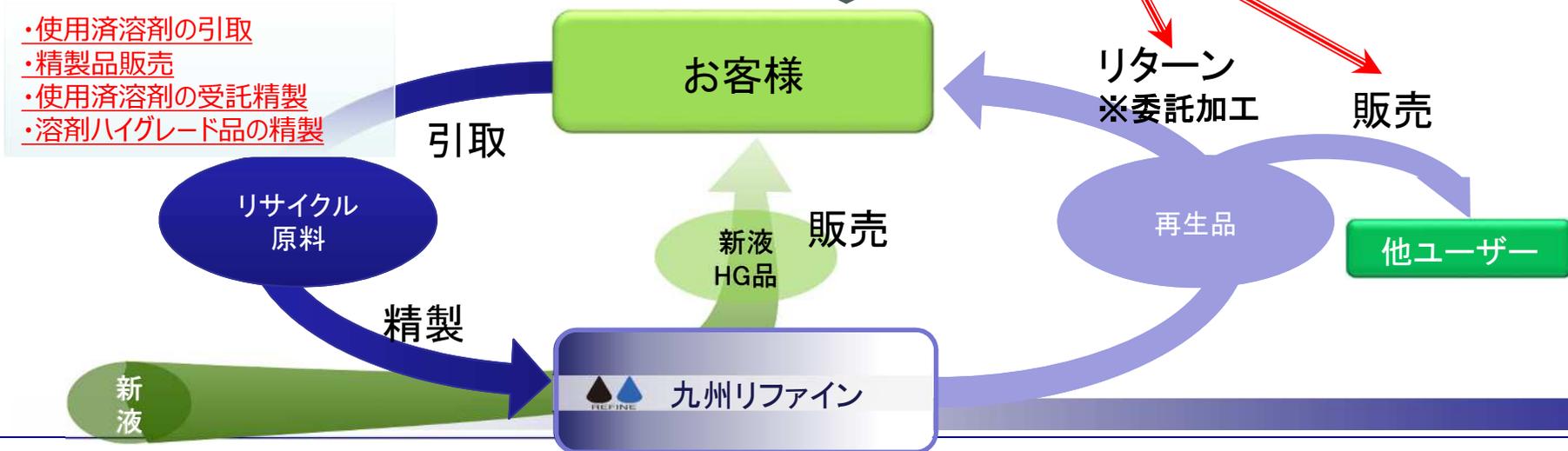
KYUSHU REFINE CO.,LTD.

ほぼすべての工業品の製造過程で使われている。



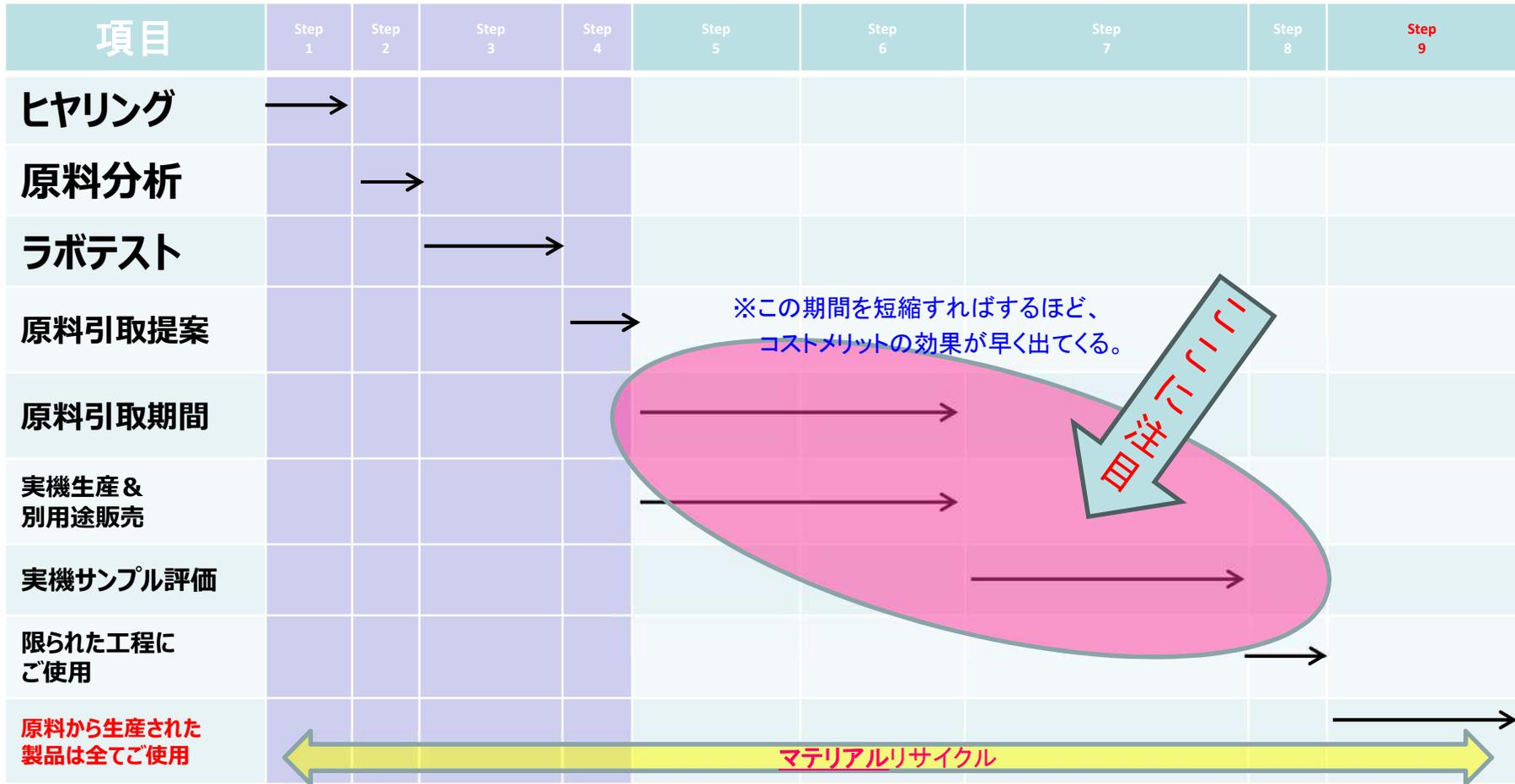
有機溶剤の3Rモデル

- ① リデュース
- ② リユース
- ③ リサイクル





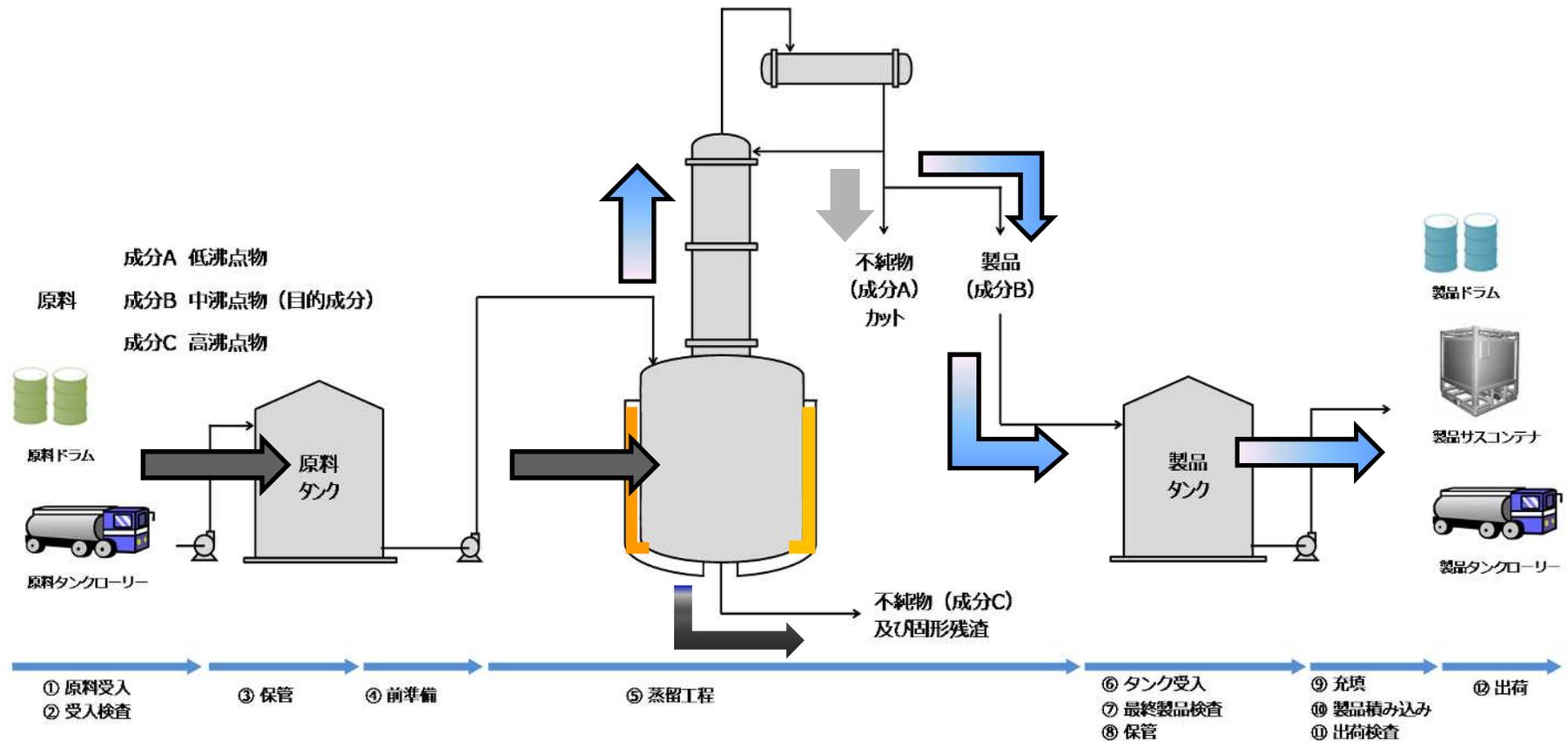
ビジネスモデルの具体例





蒸留回収フローの具体例

系列	形式	処理能力（8時間稼働）
100系	バッチ式精留塔<ジャケット式 熱源供給>	3.0m ³ /日
200系	単蒸留塔<コイル式 熱源供給>	2.2m ³ /日
処理能力合計		5.2m ³ /日





災害防止への取り組み

項目	情報
防災訓練	年一回、気象庁全国一斉訓練（緊急地震速報）に併せて緊急事態対応手順書(赤ファイル)の確認テストを実施
定期点検	消防法に則った危険物施設点検
日常構内点検	
施設・設備・ユーティリティの台帳	ISO9001:2015・JIS Q 9001:2015 施設・設備・ユーティリティ台帳
定期点検・修理年間計画表	ISO9001:2015・JIS Q 9001:2015 施設・設備・ユーティリティ台帳
日常点検	ISO9001:2015・JIS Q 9001:2015 ユーティリティ／蒸留塔
異常発見	ISO9001:2015・JIS Q 9001:2015 設備修理依頼／記録表



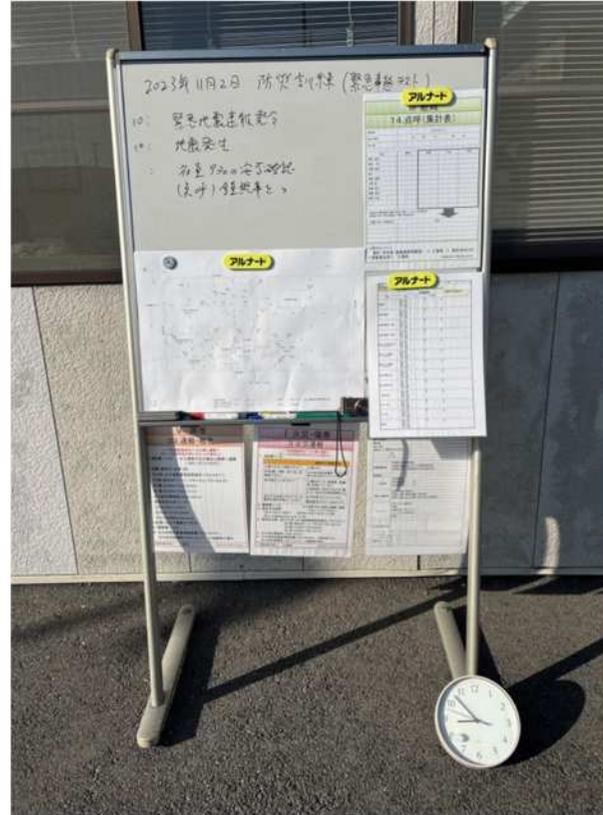
11月2日(木)は 緊急地震速報の訓練に 参加しましょう!

緊急地震速報を見聞きしたときに、慌てずに
身を守る行動ができるようにしましょう

- 令和5年11月2日(木)10時00分頃に、訓練に参加する地方自治体の防災行政無線や、一部商業施設などで緊急地震速報の放送があります。
- ※訓練の緊急地震速報は、テレビ・ラジオの放送や、携帯電話・スマートフォンの緊急速報メール(エリアメール)には流れません。(一部のコミュニケーション機器を除く)
- 普段から、家具の固定など地震への備えをすすめ、津波避難場所なども確認しておきましょう!









弊社の取り組み

項目	情報
CO2排出削減(自社評価)	日本溶剤リサイクル工業会への参画
CO2排出削減(自社評価)	1年後毎に事業活動によるCO2排出量を把握
CO2排出削減(電気)	再生エネルギー100%採用
CO2排出削減(LNG)	カーボンニュートラルLNG100%採用

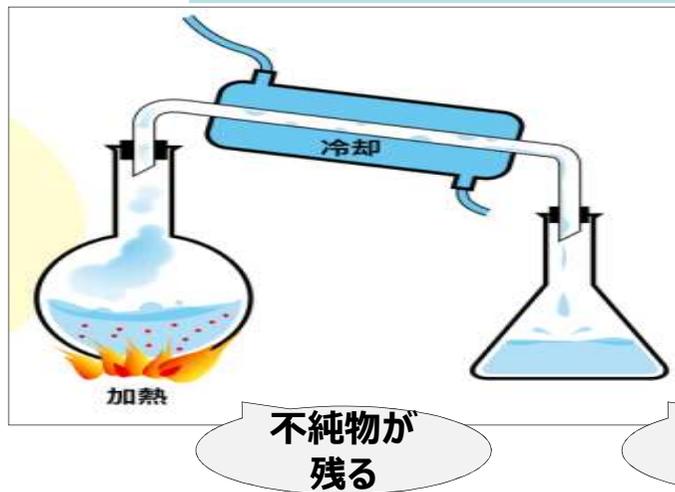
蒸留再生による“マテリアルリサイクルを業の柱”とする事で、資源循環と環境保全に努めています。

また、事業活動そのもので発生するCO2の排出量削減にも努めている。

当社のビジネスモデルを使ったCO₂排出削減



当社のビジネスモデルを使った安心できる品質管理



再生品

≠

粗悪品



“精製”品

+

+

価格変動が少ない

ケース次第では、新液より純度アップ



当社の事業活動におけるCO₂排出削減の取り組み①

日本溶剤リサイクル工業会へ参加して
独自のLCA計算を基にCO₂排出量削減貢献を定量化
日本溶剤リサイクル工業会 (solvent-recycle.com)

蒸留原料	製品 生産量	マテリアルリサイクル率 当社の蒸留精製品	サーマルリサイクル率 助燃剤として処理業者へ販売	その他 固形分・カロリー不足など
1,033t (有価物)	730.3t	70.7%	11.8%	17.5%
20t (産業廃棄物)	17.7t	88.5%	11.5%	0.0%

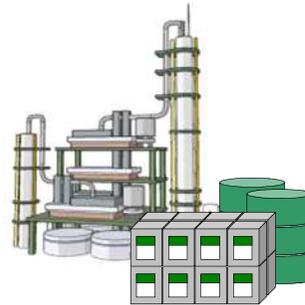
2022年度実績

ここから循環型リサイクル、つまりリユース(当社では委託加工と謳う)していただくお客様を抽出し、『焼却を回避したCO₂削減+新液製造が不要になった分のCO₂削減量』を算出し、年間での当社事業活動におけるCO₂排出量削減効果を定量化する仕組みを持っている。

(使用済み廃液リサイクル処理: 322t)
【2015年】CO₂排出量削減貢献: -t
(使用済み廃液リサイクル処理: 883t)
【2016年】CO₂排出量削減貢献: -t
(使用済み廃液リサイクル処理: 989t)
【2017年】CO₂排出量削減貢献: 2,427t
(使用済み廃液リサイクル処理: 1,172t)
【2018年】CO₂排出量削減貢献: 1,445t
(使用済み廃液リサイクル処理: 1,079t)
【2019年】CO₂排出量削減貢献: 2,462t
(使用済み廃液リサイクル処理: 1,312t)
【2020年】CO₂排出量削減貢献: 3,860t
(使用済み廃液リサイクル処理: 1,364t)
【2021年】CO₂排出量削減貢献: 1,891t
(使用済み廃液リサイクル処理: 1,227t)
【2022年】CO₂排出量削減貢献: 2,241t
(使用済み廃液リサイクル処理: 1,053t)

※循環型リサイクルによるCO₂排出削減貢献の場合

有機溶剤を
蒸留精製で
リサイクルします



蒸留再生の設備を
設計・開発します

溶剤リサイクル

検索



[日本溶剤リサイクル工業会Webページ]

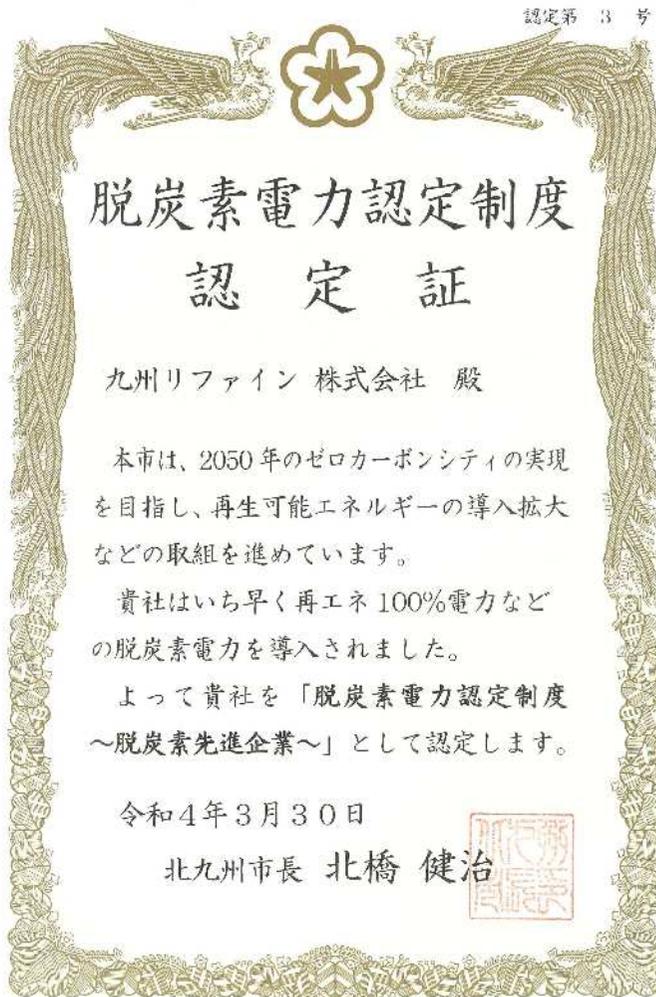


1994(H4)年設立
加盟企業32社※

※正会員19,賛助会員13 2023.10現在

- ✓ 調査研究
- ✓ ニーズ調査・啓発活動
- ✓ 提言
- ✓ 情報交換・各種交流

操業するエネルギーを100とした場合、14.3%を電気に頼っている



2021年12月より、再エネ100%電力へ切替。

2022年4月、北九州市より「脱炭素電力認定制度～脱炭素先進企業～」に認定紹介中です。

https://www.city.kitakyushu.lg.jp/kankyoku/290_00006.html
<https://kankyo-kitakyushu.hub.arcgis.com>
<https://kitakyushu.maps.arcgis.com/apps/dashboards/d48fb727ef80414aa08fc649c348afec>



©teitan&black-teitan, City of Kitakyushu

操業するエネルギーを100とした場合、85.7%が熱源利用となっている。

西部ガスグループ

1. カーボンニュートラルLNGについて



カーボンニュートラルLNG (CNL) とは、天然ガスの採掘から燃焼に至るまでの工程で発生する温室効果ガスを、新興国等における環境保全プロジェクトにより創出されたCO₂クレジットで相殺すること（カーボン・オフセット）により、地球規模では、この天然ガスを使用してもCO₂が発生しないといみなされるLNGです。環境保全プロジェクトは、地球規模での温室効果ガス削減・排出抑制に加え、現地での雇用の創出や生物多様性の保護等、SDGsの目標にも関連しています。CNLの活用は、持続可能な社会の実現に貢献します。

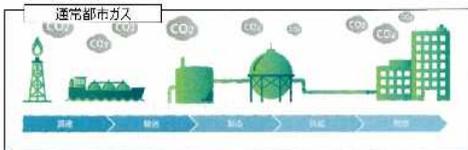
【ロゴに込めた意味】

円形は地球を、葉はテクノロジーを表現しています。

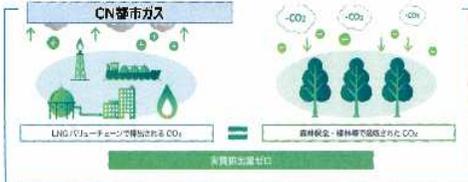
色彩は、西部ガスのコーポレートカラー（青系）～グリーン（エム）へと昇り、脱炭素へ向かう変化を表現しています。

II-1. カーボンニュートラル都市ガスとは

- ✓ CN都市ガスとは、天然ガスの採掘から燃焼に至るまでの工程で発生する温室効果ガスを、環境保全プロジェクトにより創出されたCO₂クレジットで相殺すること（カーボン・オフセット）により、地球規模では、この天然ガスを使用してもCO₂が発生しないといみなされる都市ガスです。
- ✓ CN都市ガスは、現時点で国内法（温対法等）において評価されません。



- ✓ 通常都市ガスは燃焼時はもちろん、ライフサイクル（採掘～輸送～製造～供給における過程）にてCO₂が発生している。



- ✓ CN都市ガスはライフサイクルにて発生するCO₂を相殺するクレジットにて実質排出ゼロとみなされます。

2022年8月
CN LNG100%供給への
切り替え完了

ご採用事例
|カーボンニュートラルLNG|
西部ガス (saibugas.co.jp)



九州リファイン株式会社

ありがとうございました。

